



令和 4 年 9 月 3 0 日

九州 地 方 整 備 局

九州管内で霧島スマートインターチェンジ(仮称)が準備段階調査に着手

高速道路の有効利用や地域経済の活性化等の効果が期待されるスマートインターチェンジ※¹において、^{きりしま}霧島スマートインターチェンジ(仮称)※²について準備段階調査に着手します。

なお、本日付けで、全国で7箇所を新規事業化し、新たに4箇所で準備段階調査に着手します。

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

○九州管内の準備段階調査箇所

- ・ 名 称：^{きりしま}霧島 スマートインターチェンジ(仮称)
- ・ 検 討 位 置：^{きりしま}鹿児島県 霧島 市
- ・ 路 線 名：E78 東九州自動車道(国分 IC～^{はやとひがし}隼人 東 IC間)

○準備段階調査について

スマートインターチェンジの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、国が調査を実施する「準備段階調査」を実施します。

これにより、スマートインターチェンジの地方での計画的かつ効率的な準備・検討の推進を図ることとしています。

【添付資料】

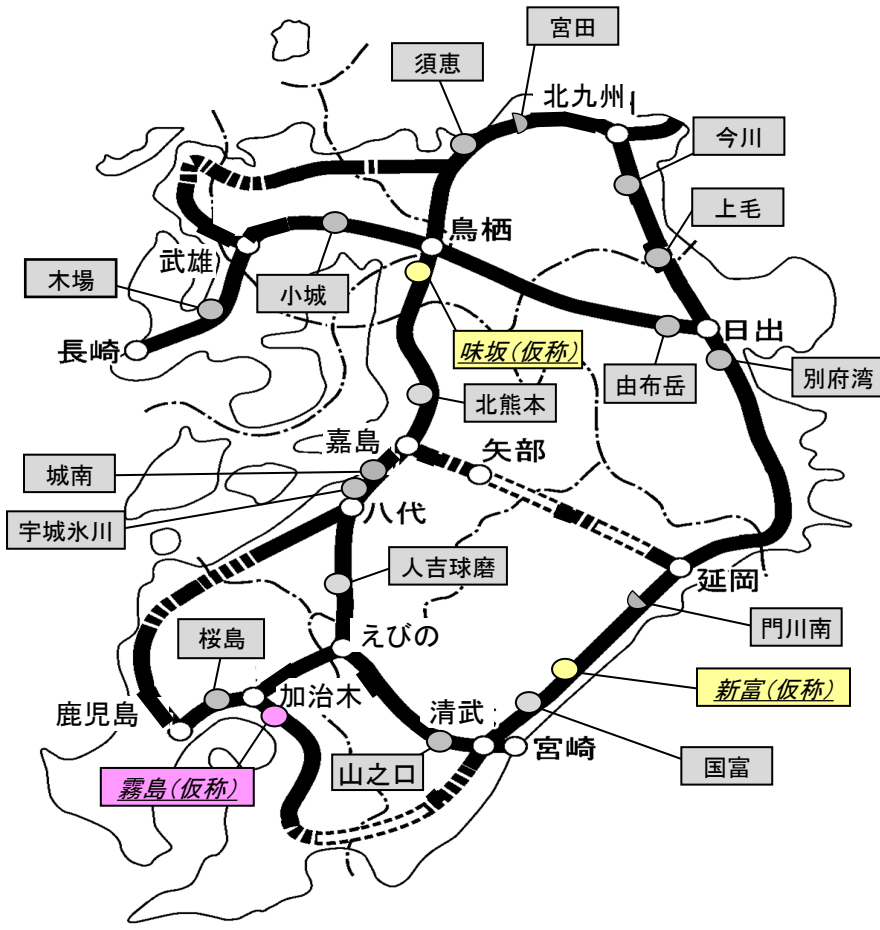
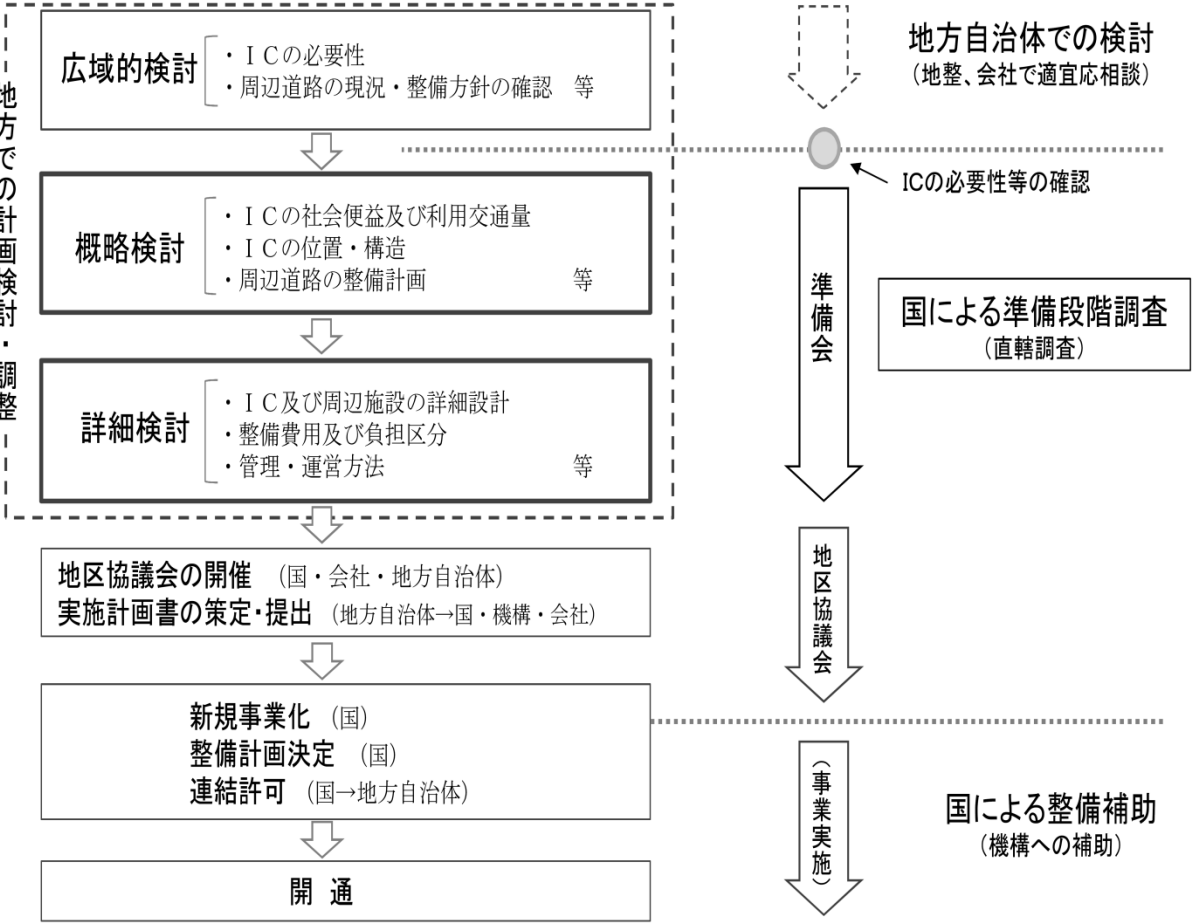
- ・ 別紙ー1 スマートICの進め方／九州のスマートIC箇所図
- ・ 別紙ー2 本省記者発表資料「スマートインターチェンジの高速道路会社への事業許可および準備段階調査着手について」

【問い合わせ先】

九州地方整備局 〔代表〕 092-471-6331 〔直通〕 TEL 092-476-3543
企画部広域計画課 課長 佐伯 康夫(内線3211)
課長補佐 藤川 真一(内線3212)

スマートインターチェンジの進め方

- スマートICの準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査（直轄調査）を実施（準備段階調査）。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。



【凡例】		
■	開通済	16箇所
■	事業中	2箇所
■	準備段階調査	1箇所
(令和4年9月30日時点)		



令和4年9月30日
道 路 局

スマートインターチェンジの 高速道路会社への事業許可および準備段階調査着手について

国土交通省は、スマートインターチェンジ7箇所について、本日付で高速道路会社へ事業許可を行いました。

併せて、新たにスマートインターチェンジ4箇所について準備段階調査に着手します。

別添①：スマートインターチェンジの高速道路会社への事業許可について

別添②：スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

別添③：スマートインターチェンジの新規準備段階調査着手箇所について

<問い合わせ先>

国土交通省 道路局 代表 TEL 03-5253-8111

高速道路課 御器谷、高橋（内線：38362、38353）

直通：03-5253-8500 FAX：03-5253-1619

スマートインターチェンジ※¹の高速道路会社への事業許可

別添①

スマートインターチェンジの新規事業化箇所

スマートインターチェンジの名称(仮称)※ ²	連結位置	路線名	事業主体
しんとく ※ ³ 新得	北海道 ^{かみかわ} 上川郡 ^{しんとく} 新得町	北海道横断自動車道黒松内釧路線(トマムIC～十勝 ^{とかちしみず} 清水IC間)	NEXCO東日本 (新得町)
はちまんたい 八幡平	岩手県 ^{はちまんたい} 八幡平市	東北縦貫自動車道弘前線(松尾 ^{まつお} 八幡平IC～安代 ^{あしろ} IC間)	NEXCO東日本 (八幡平市)
ちよだ 千代田PA	茨城県かすみ ^{がうら} 市	常磐自動車道(土浦北 ^{つちうらきた} IC～千代田 ^{ちよだい} 石岡IC間)	NEXCO東日本 (かすみ ^{がうら} 市)
あしかが 足利	栃木県 ^{あしかが} 足利市	北関東自動車道(太田桐生 ^{おおたきりゆう} IC～足利 ^{あしかが} IC間)	NEXCO東日本 (足利市)
けみがわ まさご 検見川・真砂	千葉県 ^{ちば} 千葉市	東関東自動車道水戸線(湾岸 ^{わんがん} 習志野 ^{ならしの} IC～千葉北 ^{ちばきた} IC間)	NEXCO東日本 (千葉市)
がいかんやしお 外環八潮	埼玉県 ^{やしお} 八潮市	常磐自動車道(東京外環自動車道)(草加 ^{そうか} IC～外環三郷西 ^{がいかんみさとにし} IC間)	NEXCO東日本 (八潮市)
かんだ 神田	滋賀県 ^{ながはま} 長浜市	北陸自動車道(長浜 ^{ながはま} IC～米原 ^{まいはら} IC間)	NEXCO中日本 (長浜市)

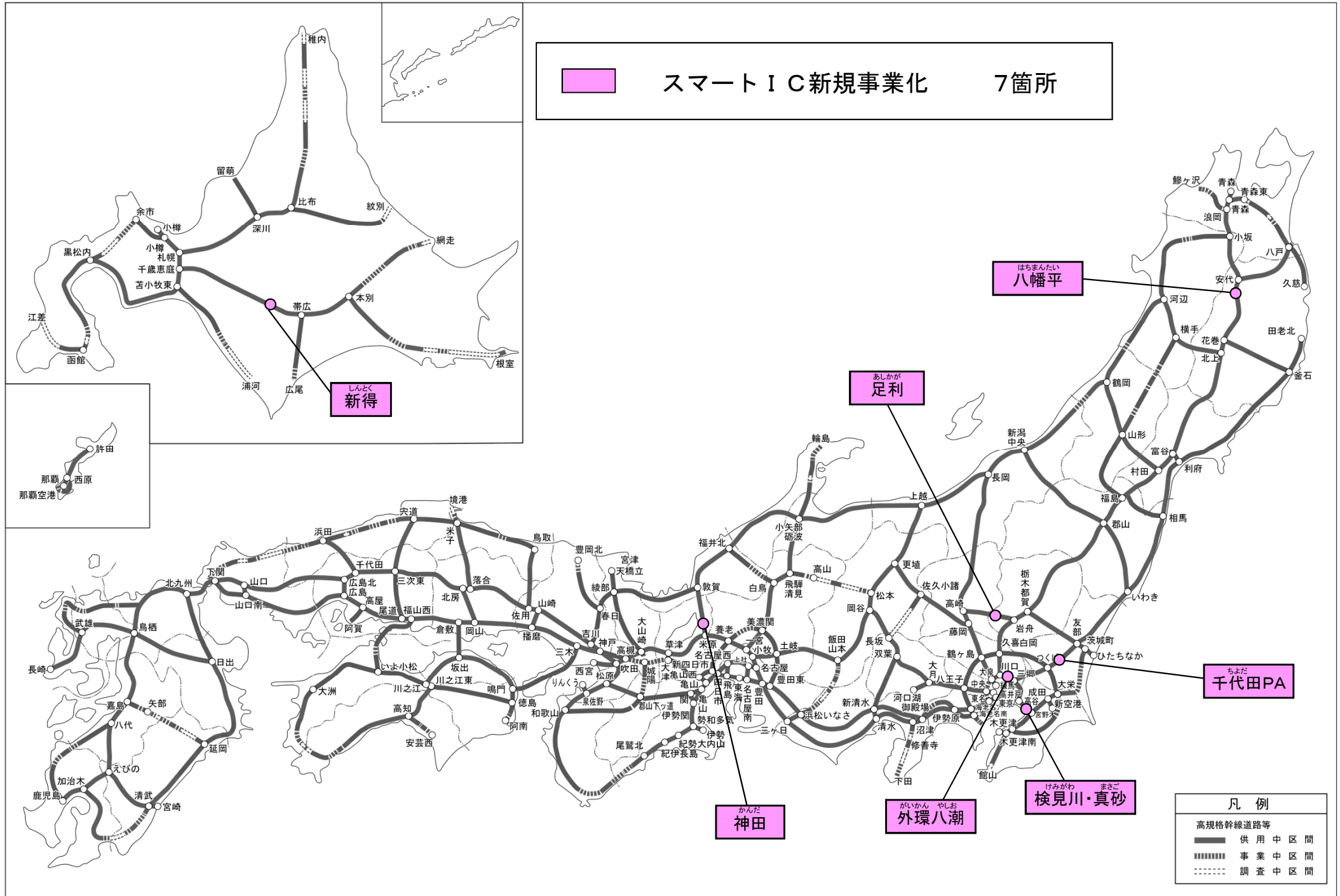
※¹ スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※² スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※³ 新得スマートIC(仮称)の事業化に合わせて、新得パーキングエリア(仮称)も事業化されます。

スマートインターチェンジの新規事業化箇所図

別添①



スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

別添②

■道東自動車道 新得スマートIC(仮称)

<概要>

路線名 : 北海道横断自動車道 黒松内釧路線
(トマムIC～十勝清水IC間)

設置場所 : 北海道上川郡新得町

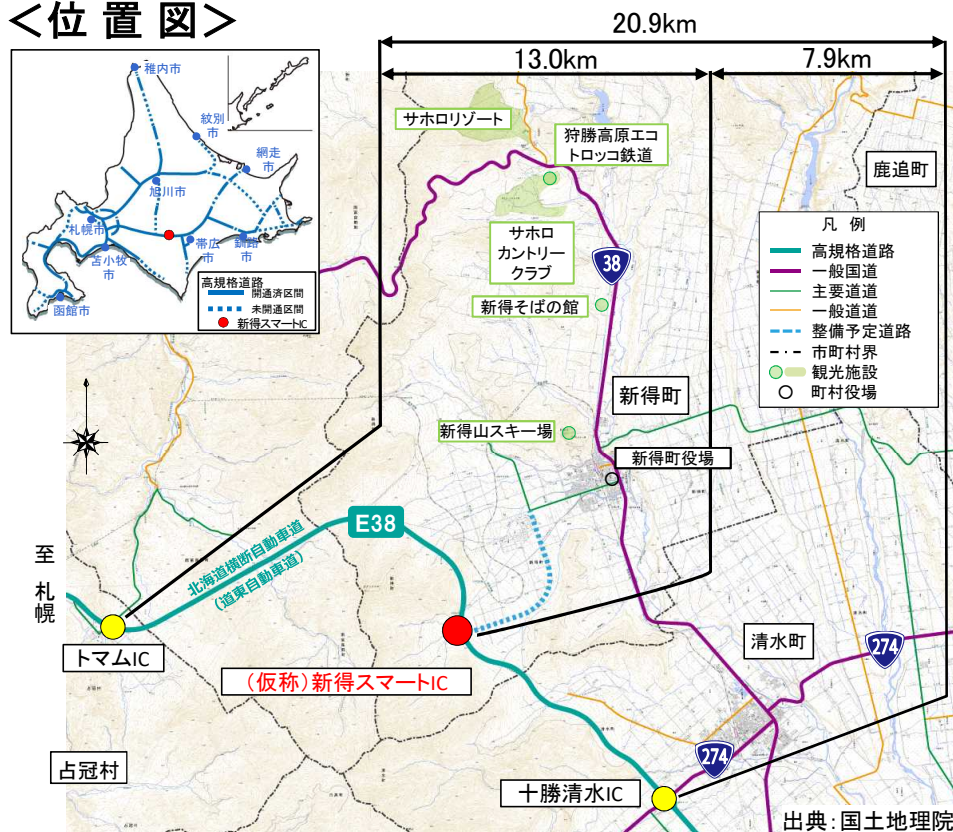
接続形式 : SA・PA接続型

※新得PA(仮称)も合わせて事業化

形式 : 全方向 (4/4)

運用形態 : 全車種 24時間

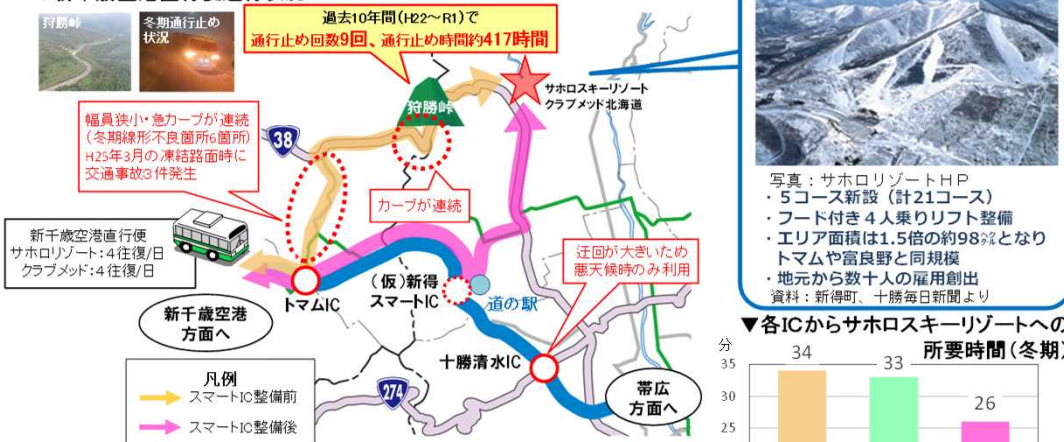
<位置図>



整備効果 観光振興

- ・十勝で最大規模であるサホロリゾートスキー場には国内外からスキー客が来訪。
- ・新得スマートIC(仮称)の整備により、最寄りICからのサホロリゾートへの所要時間が短縮され、危険性が高い狭小区間や峠を回避でき、安全性の向上も期待。
- ・道の駅を併設することで、利用者に新得町の観光情報を発信することができ、スマートICを活用した周遊観光など新たな需要に期待。

▼新千歳空港直行便運行状況



整備効果 防災体制強化

- ・新得町指定避難所の大半が浸水区域内で、周辺地域含めH28.8の台風時に多数被災。
- ・通行止め実績のある十勝清水やトマムからのルートでは、災害時の防災体制に課題。
- ・(仮称)新得スマートICの整備により、防災拠点として新たに整備予定である道の駅と連携し防災体制を強化。

▼H28.8の台風による被害状況



スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

別添②

■東北自動車道 八幡平スマートIC(仮称)

<概要>

路線名：東北縦貫自動車道弘前線
(まつおはちまんたい あしろ
(松尾八幡平IC～安代IC間))

設置場所：岩手県八幡平市

接続形式：本線直結型

形式：全方向 (4/4)

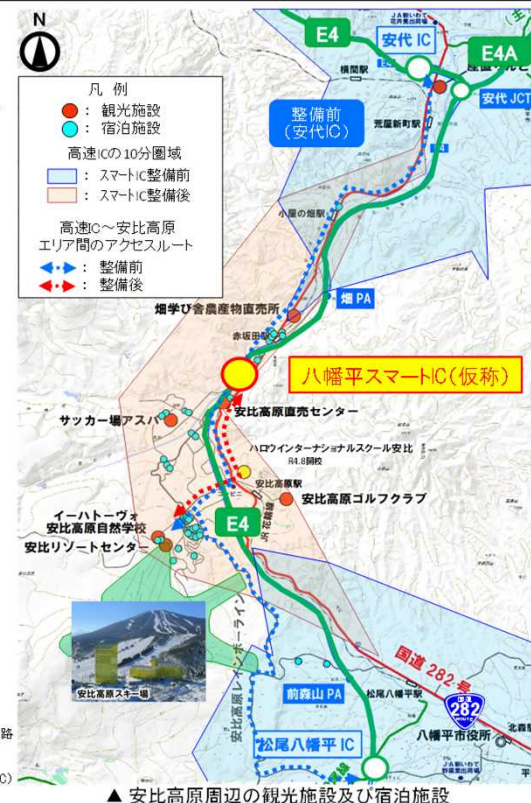
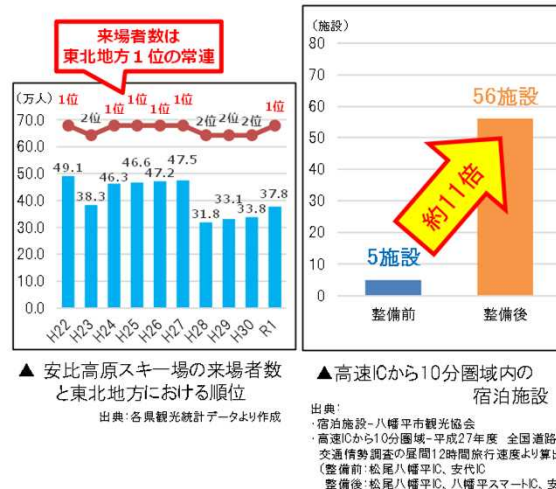
運用形態：全車種 24時間

<位置図>



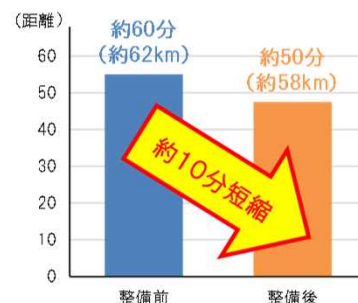
整備効果 観光振興

- ・スマートICの整備により、東北地方を代表する安比高原エリアへの観光客の利便性が向上。
- ・観光消費額の拡大による、地域経済全体のさらなる活性化が期待される。



整備効果 救急医療への貢献

- ・無医地区から岩手医科大学附属病院(三次救急)へのアクセス時間短縮など、切れ目のない医療提供体制維持への貢献が期待される。



スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

別添②

■常磐自動車道 千代田PAスマートIC(仮称)

<概要>

路線名：常磐自動車道
(土浦北IC～千代田石岡IC間)

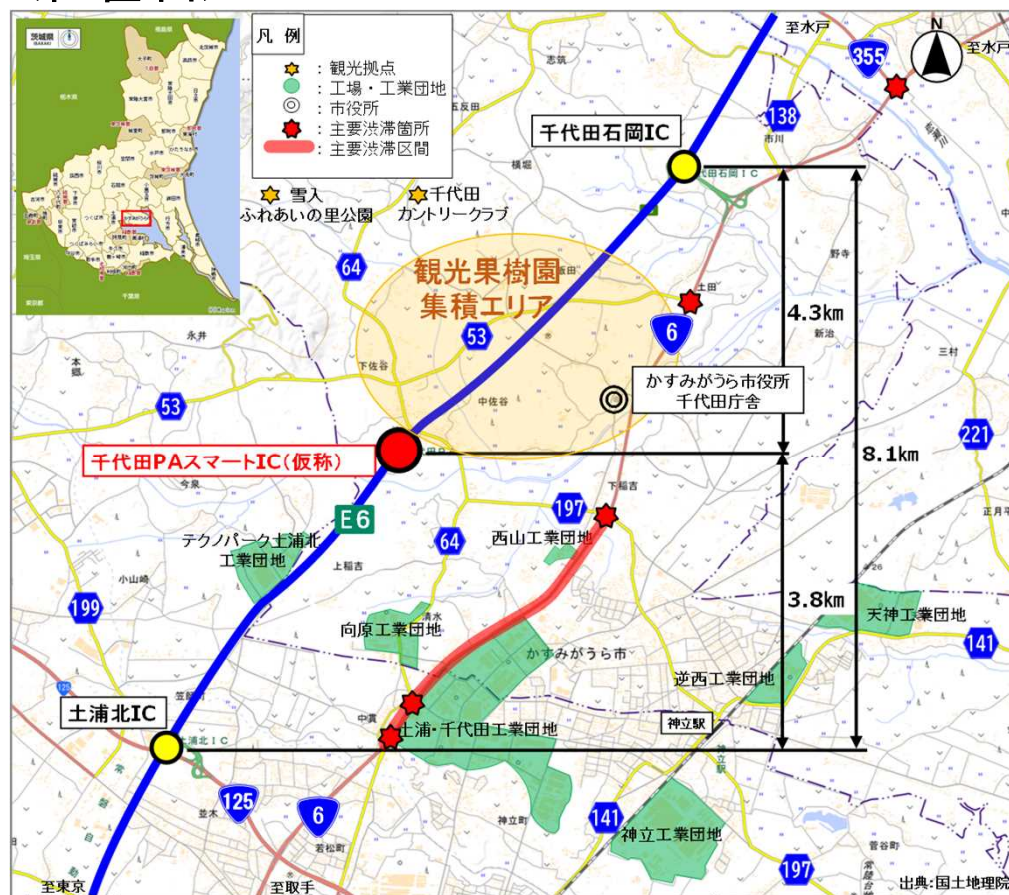
設置場所：茨城県かすみがうら市

接続形式：SA・PA接続型

形式：全方向 (4/4)

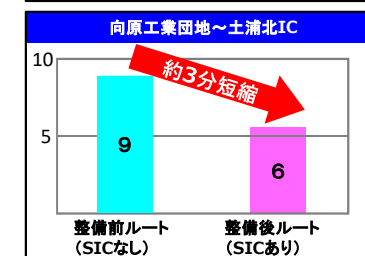
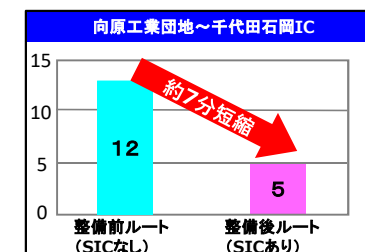
運用形態：全車種 24時間

<位置図>



整備効果 物流の効率化と国道6号の渋滞緩和

- ・スマートICの整備により、高速道路へのアクセス性が向上し、市内各工業団地の輸送効率の向上が図られるとともに、交通の分散により国道6号の交通渋滞の緩和が期待される。



※所要時間:H27全国道路・街路交通情勢調査
混雑時旅行速度および区間長より算出
(混雑時:午前7時～9時、午後5時～7時)

整備効果 観光の振興

- ・スマートICが、観光果樹園や各観光拠点の玄関口として機能することでアクセス性が向上し、年間を通して様々な果物狩り体験ができる観光園への来園者の増加及び、観光拠点やイベントの充実の支援による観光周遊強化が期待される。



※所要時間:H27全国道路・街路交通情勢調査
混雑時旅行速度および区間長より算出
(混雑時:午前7時～9時、午後5時～7時)



スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

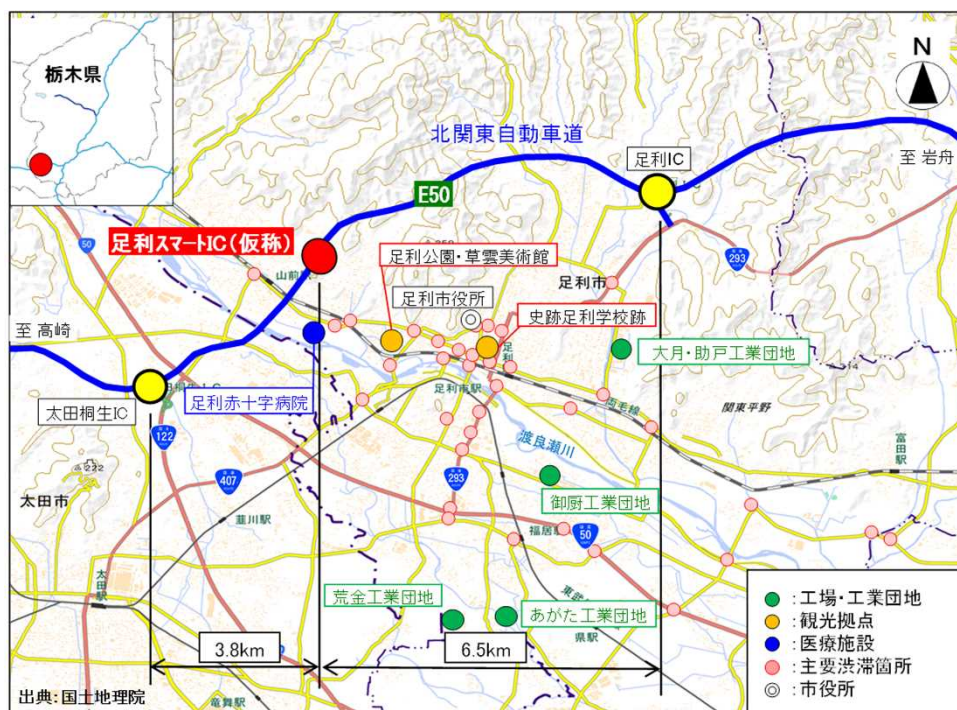
別添②

■北関東自動車道 足利スマートIC(仮称)

<概 要>

路線名 : 北関東自動車道
(太田桐生IC～足利IC間)
設置場所 : 栃木県足利市
接続形式 : 本線直結型
形式 : 全方向 (4/4)
運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 アクセス性向上による産業活性化、定住人口の増加

・スマートICの整備により、移動時間の短縮が図られ、利便性が向上することで、地域産業の活性化や定住人口の増加が期待される。さらに新たな経路が確保されることで中心市街地における交通の分散が期待される。



整備効果 広域的医療体制の充実

・スマートICの整備により、周辺県や関東一円からの搬送を受け入れている第三次救急医療機関へのアクセスが向上し、広域的な医療体制の充実が期待される。



※所要時間:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査旅行速度より算出。

スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

別添②

■東関東自動車道 検見川・真砂スマートIC(仮称)

<概 要>

路線名：東関東自動車道 水戸線
(湾岸習志野IC～千葉北IC間)

設置場所：千葉県千葉市

接続形式：本線直結型

形式：片方向(2/4)(東京方面)

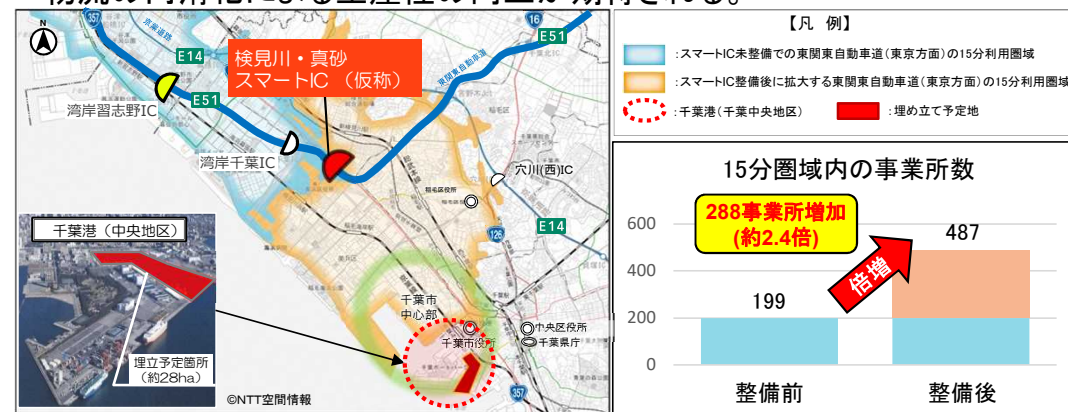
運用形態：全車種24時間

<位置図>



整備効果 産業の振興

- 国際拠点港湾である千葉港は、完成自動車の取扱貨物の増加に対応するため、埋め立てによる土地造成を予定しているなど、今後さらなる港湾機能の強化が見込まれる。
- 千葉港や中心市街地から高速道路へのアクセスが向上するとともに、東関東自動車道(東京方面) ICへの15分圏内の事業所が倍増し、物流の円滑化による生産性の向上が期待される。



整備効果 観光の振興

- 千葉市の主要な観光地である千葉みなとや稲毛海浜公園では、賑わい施設整備による観光需要の増加が見込まれる。
- 首都圏と観光地とのアクセス時間が短縮することで、交通の利便性が向上し、更なる観光需要の増加が期待される。



スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

別添②

■東京外環自動車道 外環八潮スマートIC(仮称)

<概 要>

路線名 : 常磐自動車道(東京外環自動車道)
設置場所 : 埼玉県八潮市
接続形式 : SA・PA接続型
形式 : 全方向(4/4)
運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 地域産業の活性化

・外環八潮スマートICの整備により、工業団地から東京外環自動車道へのアクセス性が向上し、輸送の利便性向上による業務効率化や地域産業の活性化が期待される。



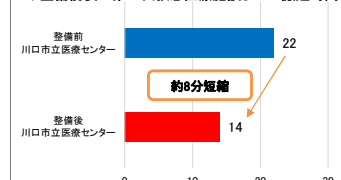
整備効果 救命救急体制の強化

・外環八潮スマートICの整備により、市内団地から東京外環自動車道沿線の第三次救急医療施設までの搬送時間が約8分程度短縮され、搬送先の選択肢が増え、救命救急体制の強化が期待される。

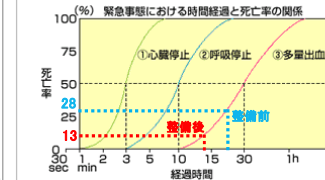
【市内団地から近隣第三次救急医療施設への搬送ルート】



◆整備前後の第三次救急医療施設までの搬送時間



カラーの救命曲線



救急隊員の意見

第三次救急医療施設が不足しているため、第2、第3の搬送先を選択することがあります。外環八潮スマートICの整備によって、長距離・長時間の移動を強いられる、他地域への搬送時間の短縮が期待でき、二分一秒を争う救急活動において、救命率の向上が期待されます。

※東京外環自動車道沿線の第三次救急医療施設を想定。搬送時間については、令和3年12月の草加八潮消防組合からの聞き取り結果(一般道:30km/h、高速道路:80km/hでの緊急走行を想定)から算出

搬送時間の短縮により、
多量出血患者の死亡率は減少
(約28%⇒約13%)

- ◆ 臨時ヘリポート
- ▲ 広域輸送拠点
- 防災拠点
- 避難中継所
- 進出拠点・宿営場所

スマートインターチェンジ※¹の新規準備段階調査着手箇所

別添③

スマートインターチェンジの名称(仮称)※ ²	検討位置	路線名
みぶ 壬生PA	栃木県みぶ町	北関東自動車道(つが都賀IC～みぶ壬生IC間)
やしろ 屋代	長野県ちくま市	関越自動車道上越線(さかき坂城IC～ながの長野IC間)
かけ 加計(フル化)	広島県やまがた山県郡あきおおた安芸太田町	中国縦貫自動車道(ちよだ千代田IC～とごうち戸河内IC間)
きりしま 霧島	鹿児島県きりしま市	東九州自動車道(こくぶ国分IC～はやとひがし隼人東IC間)

※¹ スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※² スマートインターチェンジの名称(加計は除く)は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

スマートインターチェンジの新規準備段階調査着手箇所図

別添③



スマートIC新規準備段階調査着手 4箇所

